

事例研究報告

特別支援学校小学部児童に対する
指数字を見て対応した数を取ることが
できるための指導
～「できた」を伝える支援方法について～

児童の実態

- 小学部児童，知的障がい
- 発達年齢 2歳4か月
- コミュニケーション
 - 受容：簡単な言語指示が理解できる。
 - 表出：発語なし，発声あり。
 - 要求は，手を合わせるポーズや絵カードを渡す。
- 5種類程度の色や形のマッチングができる。
- 習慣化されたことは，ほぼ確実に一人でできる。
- 課題学習時は，早く終わらせたいため，急いで取り組む様子が見られる。
- 注意や注目の持続が続かないこともあり，課題の取組にミスすることがある。

保護者の願い

数の概念（〇個取って→〇個取るなど）ができてほしい。

教員の願い

- ・家庭や外出先でも使える簡単なやりとりが増えてほしい。
- ・支援ツールをよく確認して行動する場面が増えてほしい。



家庭での何気ない場面で「できること」を発揮する。
「注意深く見る」→「行動に移す」を普段の生活に取り入れる。



食事のときに、家族から「トマト2
個取って」と頼まれて、お皿に入れて
あげられるようになったらステキだな
...



<指導目標>

指数字（1，2，3）と同じ数のシールを教員の指先に貼ることができる

ステップ①：指数字と同じ数のシールを提示

ステップ②：指数字より多い複数シールを提示

<記録方法>

「AI-PAC」システムを利用して記録

- ・課題実施毎に，実施結果をシステム上に記録
 - －：不可 P:支援有りで可 +：可
- ・指導している動画をシステム上に記録

～指導の手続き～

- ①始めは全プロンプトで，エラーレスで取り組む。
- ②指数字を注視できる視線の高さで提示する。
- ③シールを正しく貼ることができたら，すぐにハイタッチと言葉で「おわり」と伝える。
- ④「○個取って」と言葉かけを統一する。

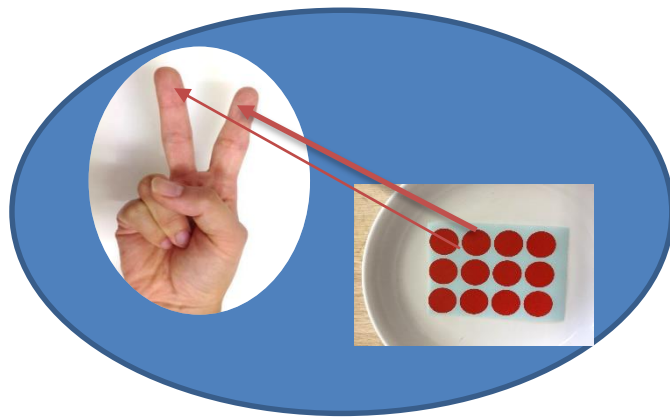
達成基準：1～3の3課題を3回連続で正しくシールを貼ることができる。

指導中止基準：3課題のうち，1課題以上でプロンプト有の条件下で3回以上正しくシールを貼ることができなかった場合とする。

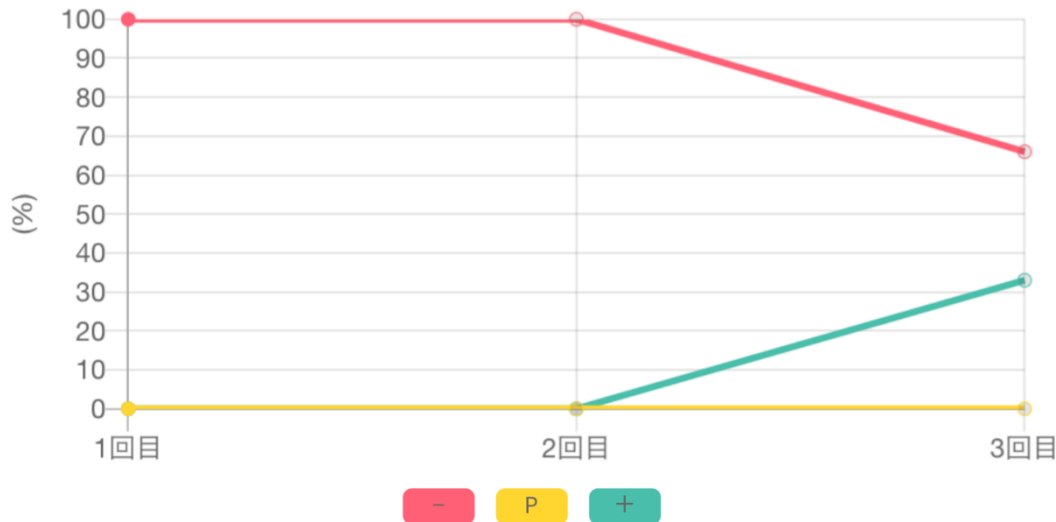
- ・月に1回程度，アドバイザーから助言
- ・動画を共有して教員間で意見交換



10月中頃 ベースライン



1本の指にたくさん貼ってしまう...



不可

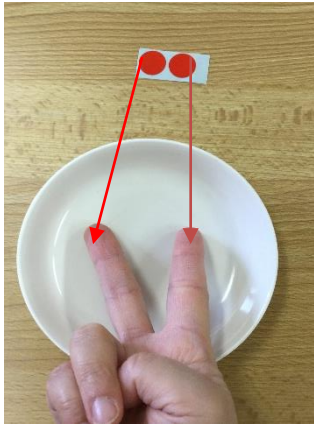


プロンプト有で可



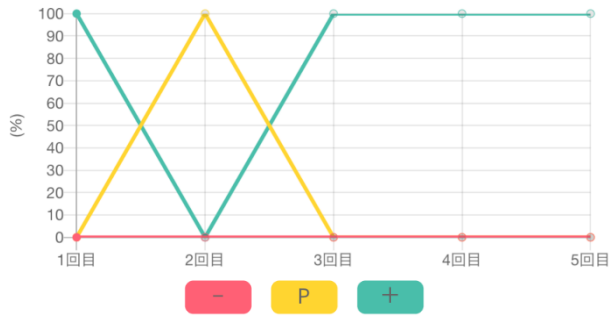
可

ステップ①



指数数字と同じ数のシール数を提示

アドバイザーの助言により指を寝かせて提示に変更



「1」のとき



「2」のとき

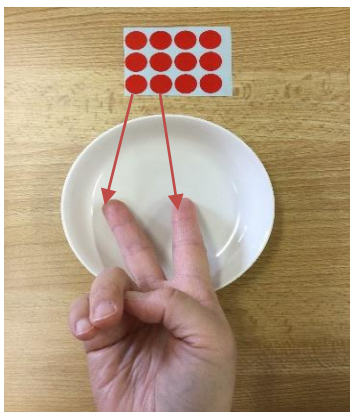


「3」のとき

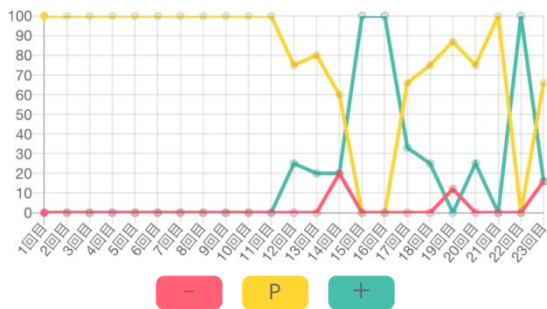
達成

次のステップへ

ステップ②



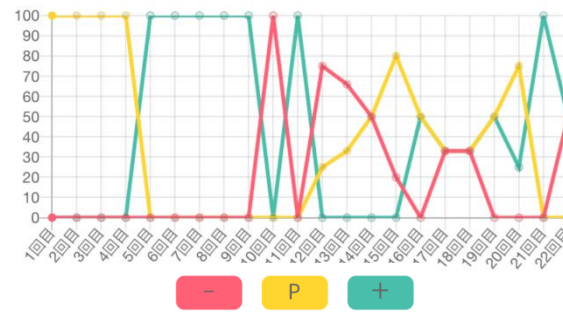
複数のシール数を提示



「1」のとき



「2」のとき



「3」のとき



うまくいかない

こんなことが起こった…

- 指数数字「2」「3」は、正しく貼るのに、「1」だけ1本の指にシールを複数貼る。
- シールを取るときに複数はがれてしまうと、混乱してしまう。
- 課題学習への集中が途切れると、あくびやよそ見しながらしてしまう。
- 行事の練習が重なると、イライラしたり、泣くこともある。
- できていたことが、休み明けにできなくなる。

アドバイザーからの助言④



- **ハイタッチ（正解を伝えるプロンプト）を手がかりにしているのでは？**
→こちらからハイタッチしない。
- **環境を整える。**
→シールを1枚ずつにする。
シールをはがす負担を減らす。
余ったシールを入れる箱を用意する。
- **視覚的プロンプトを増やす。**
→指先に注目できるような支援を行う。
- **指さしのプロンプトは依存しやすく，残りやすい。**
→後方からの身体的プロンプトで取り組む。

支援方法に
間違いが
あった！

ステップ②α



シールを1枚ずつにし、容器に入れ、取りやすさの環境を整えた。

指先に注意しやすいように印をつけた。

後方支援で、完全なエラーレスを図った。



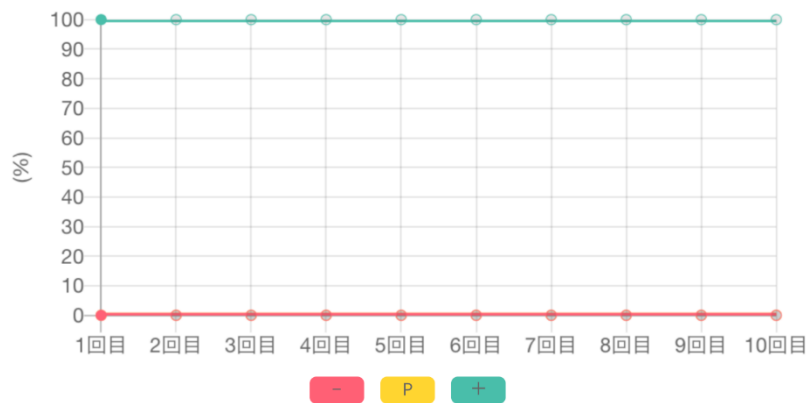
シールを取るときに混乱するようなミスが減った。

指先だけにシールを貼ることができるようになった。

ランダムに指数字を提示してもミスなくできるようになった。

ステップ②αの結果

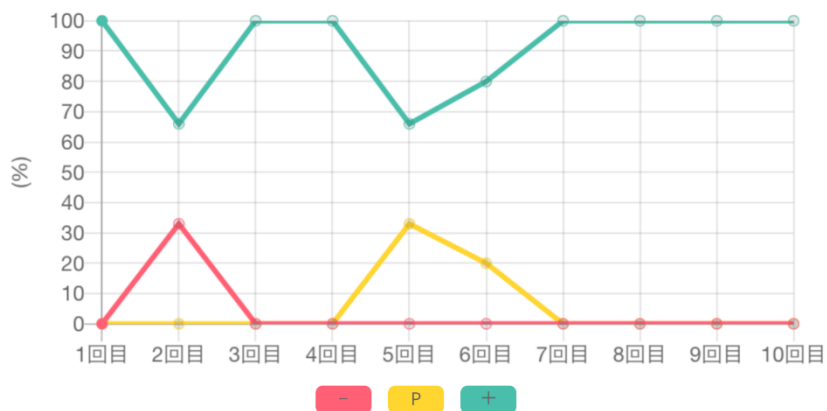
1, 2, 3すべて達成



「1」のとき



「2」のとき



「3」のとき

- 不可
- P プロンプト有で可
- + 可



ここが成功のポイント

動画をシェア

アドバイザーの助言

教員間での意見交換や協力

支援方法を自己確認

支援方法が本当の
理解の妨げに！

教員の表情や視線も
課題のヒントになり
得る！

煩雑な
環境プロンプト

支援方法の
見直し

環境やプロン
プトの整理

「できた」に
つながる支援